

過去と現在

理事（財務） 肥沼 武司



携帯電話（今でいうガラケー）が普及しはじめた約30年前、当時、ビジネスマンを除けば国民の多くが所有しているとはいえなかった。自分が病院に勤め始めた当初で、携帯電話を持っている人は5人に1人くらいの印象だ。当時の携帯は、通話・時計・電話帳・着信メロディーくらいの機能しか有していなかった。それからカメラが付き、iモードというネットのまね事ができるようになった。それからスマートフォンが誕生し、さまざまなサービスが生まれ、その便利さから国民のほとんどが携帯電話を所有している時代になった。この30年ですさまじい進化である。人々の需要が多ければ、その物の機能は洗練され便利になっていく典型的な例だ。

自分が技師学校に在籍していた同じく約30年前、当時の統一講習会が技師会で開催されていたらしい。自分はまだ学生だったので、その内容は授業のカリキュラムに含まれていた。当時はMRI・超音波・無散瞳での眼底カメラの業務拡大であった。そして十数年後の統一講習会では針抜き、その後、針刺しが開催された。携帯電話同様、その資格に需要があれば常に進化を求められるのは世の常だ。時代は変化し続け、国民の要望と各医療団体の努力で法律は改正される。今後、何十年か分からないが、医療の発展のためにさらなる業務が加わり、診療放射線技師という職業が医療において今後も必要不可欠なものとしてあり続けてほしい。そのためには、今、われわれ現役の診療放射線技師が力を合わせ、目の前の問題や課題に真剣に向き合い、次の世代に良い意味で受け渡しができると思う。

ヒト一人ができることはごくわずかだ。しかし、多くの団体・法人の努力、国民の要望で世の中は変えられる。時代に目を向け、過去・現在・未来へとつながればと思う。自分が技師会にできることは一会員であることと、理事としてほんの少し法人のお手伝いをしているにすぎない。会があり続けることが重要だ。実際、自分は勉強会で多くのことを学び職場に反映できた。公益関係でも健康祭りなどの参画で地域社会に貢献できたと思う。

大勢の力が実となれば個人でも職場や社会に貢献できる。そのためにも技師会に入会・在籍をしていただきたい。身近な方で未入会の方がいたら、ぜひ、入会を勧めて技師会の活動を利用していただけたら幸いである。

サブスクリプションの新たな側面： パスワード管理アプリの活用



理事（学術） 近藤 敦之

はじめに

サブスクリプションといえば、多くの人がYou Tube PremiumやAmazon Primeなどのサービスを思い浮かべるかもしれません。しかし、私は情報管理に役立つツールとして、パスワード管理アプリを活用しています。

パスワード管理アプリとは？

私が利用しているアプリは、Mac、iPhone、Windows、Androidなど、さまざまなプラットフォームで利用可能です。このアプリを使うと、ID、パスワード、クレジットカード情報などを一つのパスワードで管理できます。使いやすさとセキュリティ性能が多くのユーザーに支持されています。オンライン講習会やウェビナーを利用する際にも、便利なアシスタントとなります。学会の年会費や講習会参加費の支払いはオンライン決済が一般的となりつつありますが、個人情報や支払い情報のセキュリティは常に懸念事項です。こうした状況下で、パスワード管理アプリは、個々のアカウントを安全に管理する手段として役立ちます。オンラインツールやデジタルサービスの利用が増える中で、それらを適切に活用するためには、セキュリティ意識やパスワード管理のスキルが求められます。アプリを活用することで、効率的に管理することができます。

なぜサブスクリプションなのか？

私がパスワード管理アプリをサブスクリプションにする理由は、単純に利用頻度が高く定期的に利用するからです。サブスクリプションに向かないものは、利用頻度が不定期なものだと思っています。

まとめ

パスワード管理ソフトをサブスクリプションにするかどうかについては、賛否が分かれると思います。しかし、IDやパスワードの管理にはコストがかかっていると感じています。皆さまはどのようなサブスクリプションをお使いでしょうか？もし使っていないサブスクリプションは、この機会に解約を検討してみるのはいかがでしょうか？大切な情報の管理と費用対効果を考える際に、サブスクリプションの見直しは意義深いかもしれません。